

もっと清水が好きになる。

しみずの風

2022

2

No.580



特集
1

アグリフェスタしみず2021

特集
2

SDGsへの取り組み

SDGs 50周年
50th
ANNIVERSARY



グローイング ■ フェイス

Glowing Face

■ いま、清水で輝いている人たち

杉山 貴也 (40) さん 柑橘生産者

すぎやま たかや / 静岡県清水区茂畑に住む農家の6代目。
はるみ・青島温州・ゆら早生を190aほどの畑で栽培している。

杉山さんは、東海大学沼津キャンパスを卒業後、23歳で就農した。「平成7年（1995年）にわが家のポンカンが品評会で優等賞を取ったことが就農の

**先を見据えて
柔軟に作物転換**

県道371号茂畑横砂線の曲がりくねった道から、茂畑基盤整備地方面へ山を上がっていくと、日当たりの良い斜面に出る。古くから農業を営む杉山さんの自宅はそこにある。貴也さんは6代目にあたるという。自宅裏の畑には定植後1〜3年ほどの小さなミカンの木が並び、山の間からは駿河湾が顔をのぞかせている。



■ 収穫したはるみの品質を確認する杉山さん

良いミカンを作る家だから、農業を継いでいこう

きっかけですね」と経緯を話してくれた。以後、品評会で何度も入賞をしているポンカンを見て「良いミカンを作る家だから農業を継いでいこう」と思ったという。しかし、品質にこだわる杉山家も多くの苦勞を乗り越えてきた。

元々は、中生(なかくて)ミカンを主体に栽培していたが、昭和47年(1972年)のミカンの価格大暴落に遭い、お茶に作物転換。しかし、窪地という立地条件の茶園が多く、霜が当たるなどして思うような生葉を収穫できなかった。茶全体の価格の低下もあり、新たな作物に変えようと、茶から青島温州やはるみなどの柑橘類への改植を進めている。

はるみ栽培のこだわりは、果実に日が当たるような剪定を心掛けていることだ。農薬散布もしやすくなり、きれいなミカンができる。はるみは、青島温州などと比べ、花が多いため摘果作業も時間が掛かる。葉が細かく、剪定も手間が掛かるが「一番は剪定だ」という思いではるみと向き合っている。

現在は、青島温州が主体だが、特定の品種に偏らないように改植を進めて

いる。茂畑基盤整備地では青島温州が育ってきたため、山の畑を徐々にゆら早生へ改植を進めている。レモンの導入も検討中だ。近年、鳥獣害が全国的に広がる中、レモンは鳥獣被害の少ない作物。山で栽培するにはうってつけだという。

はるみは、植えてから10年ほど経ち、大きく育った木が増え、収量も増えている。近年、単価も上がっているため、はるみの栽培にやりがいを感じている。「サクサクとした食感で香りも良いはるみをぜひ皆様に食べていただきたい」と笑顔で話してくれた。



50年前から貯蔵には木箱を使用している。

CONTENTS

風の風

2022
2
No.580



記事の一部は
Youtubeで配信
しています。

2 Glowing Face
杉山 貴也さん

4 特集1 /
アグリフェスタしみず
2021

6 特集2 /
SDGsへの取り組み

9 アーカイブしみず
~JAしみず市慰霊碑~

12 営農ワンポイント
~3月編~

15 遠山由美のこだわりレシピ
~ ホウレン草のガレット ~

16 TOPICS

18 Information

20 ちょっと一息*リフレッシュ!
~ 山原山からの眺め ~



平岡文夫さん(81才)史子さん(77才)
(静岡市清水区但沼)

元々は、イチゴの土耕栽培をしていたハウスでガーベラを土耕栽培する平岡さんご夫妻。花粉の状態を見ながら収穫をし、夫婦二人三脚でガーベラ栽培に汗を流しています。

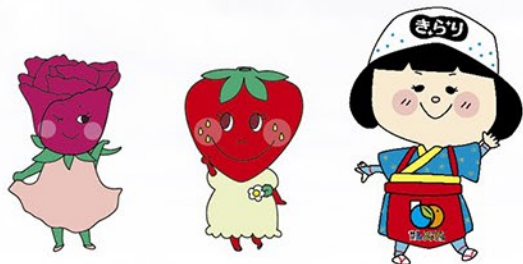
今月の表紙

開催終了

- ・興津支店 11月 6日 (土)
- ・両河内支店 11月13日 (土)
- ・袖師支店 11月19日 (金)
- ・高部支店 11月20日 (土)
- ・飯田支店 12月15日 (水)
- ・清水支店 12月15日 (水)



今年度の農業祭「アグリフェスタしみず」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日時も場所も支店ごとに分散し、小規模なイベントとして開催しました。
年内に6店舗が終了しました。



分散開催となった「アグリフェスタしみず」は、11月6日の興津支店を皮切りに始まりました。昨年度は中止しましたが、今年度は地域の人たちと心を通わす大切な機会として、感染対策をとりながら支店ごとに開催しました。各会場では、新鮮な農産物や加工品の販売をはじめ、ダイコンの品評会や地域の人たちによる太鼓の演奏など、各支店が工夫を凝らし、地域色豊かな催しとなりました。

また、昨年度好評だったネット通販は今年度もJA全農の「JAタウン」で実施。目玉商品や特別セール価格の商品を用意し、11月15日から12月24日まで「アグリフェスタしみず」と銘打って販売しました。

例年、清水マリナーパークで開催していたアグリフェスタしみずは、約2万5000人が訪れる一大イベントでした。当JA管内の農業者が一堂に会し、約40の関連団体が70張りを超えるテントを張る大規模なものでしたが、感染状況から2年続けて開催を見送りました。来年度は当JA合併50周年の節目の年でもあり、再び大きなイベントができる状況になることを期待しています。



- 1&2. 高部支店
- 3. 飯田支店
- 4&5. 興津支店
- 6&7. 清水支店
- 8&9. 高部支店
- 10&11. 袖師支店
- 12. 両河内支店



ダイコン品評会 入賞者発表

- | | | | | | | |
|----------------------|---------------------|----------------------|------------------------|-----------------------|----------------------|---------------------|
| 優秀賞
杉山調子様
杉山地区 | 優秀賞
石垣修様
上飯地区 | 優秀賞
池田敏江様
袖師地区 | 最優秀賞
川口寛治様
西久保地区 | 努力賞
鈴木信枝様
西久保地区 | 努力賞
澤野由明様
袖師地区 | 努力賞
滝俊幸様
袖師地区 |
|----------------------|---------------------|----------------------|------------------------|-----------------------|----------------------|---------------------|

10



12



11



9

11/15~12/24まで ネット通販版も開催しました！



清水の農産品詰め合わせセットを目玉に、ネット通販版「アグリフェスタしみず」をJAタウンで開催しました。11月15日から12月24日までの期間中、通常販売価格5,000円相当のセットを半額の2,500円で提供し、計200セットがすぐに完売となりました。

その他にも、お茶やレッドオーレなどを特別価格で販売し、大変好評でした。



SDGsへの取り組み

JAしみずは2019年12月にSDGs宣言をし、SDGsへの貢献につながるJAの取り組みを本誌で紹介してきました。

地域に寄り添う協同組合の相互扶助の精神は、まさにSDGsを体現してきたものです。今号は改めて活動を振り返り、地域社会の一員として、食料・農業と地域・くらしを起点とした、JAならではのSDGsへの貢献を考えてみます。

JA職員が営農ボランティア

本格的な農業支援を目指す



JA職員による農繁期の営農ボランティアを実施。農作業をしながら組合員との対話も大切にし、コミュニケーションを図っています。

ミカンの保管場所提供

選果作業も請け負う



貯蔵や出荷作業が困難になったり、生産量増加で貯蔵庫が不足する生産者を支援しようと、JAが青島温州の選別作業を請け負い、一時保管場所を提供しました。

明日も農業を続けるために

農作業事故を減らす注意喚起



農作業事故やケガを防ぐことは、これまで培ってきた栽培技術や農地を後継者に引き継ぐことにつながります。機械や作業の注意点などを呼び掛けています。

地元企業と加工品を開発

地域活性化を後押し



地元企業に規格外のゆら早生を提供し、果汁を使ったビールが完成しました。農産物のPRとともに、フードロス削減、農業所得向上も期待しています。

准組合員向けに園芸塾を開催

新たな生産者育成を目指す



農家が減る中、新たな就農者を育成しようと、准組合員を対象にした園芸塾を2021年から開始。産地の維持と豊かな地域づくりを目指します。

きよみの里監修 介護予防体操

健康で豊かな生活の実現



オリジナル曲「清水のミカンの歌」とともに、楽しく介護予防ができる体操を介護老人保健施設「きよみの里」と制作。健康で豊かな地域づくりを目指します。

青壮年部アグリレンジャー参上

農産物を分かりやすく伝える



青壮年部員自らが出演し、制作した動画「アグリレンジャー」は、子どもたちにも分かりやすく清水の農産物を伝え、コミュニティーづくりにも役立っています。

おいしく食べて健康に

日本の伝統「麴」の魅力を伝える



女性部庵原支部は古くから日本人に愛されてきた麴の魅力を多くの人に広げようと、レシピの考案や料理教室の開催など、PR活動をしています。

女性部ユニークなかかし制作

コロナ禍でもコミュニティーづくり



コロナ禍でも安全に交流を図ろうと、女性部はかかしコンテストを実施。全11支部が個性あふれる作品を制作し、本店ロビーや清水区役所に展示しました。

SDGs とは

Sustainable Development Goalsの

頭文字で「持続可能な開発目標」と訳されます。

世界中のすべての人が平和で平等に暮らせる世界を目指す国際目標のことで、

2030年までに達成すべき

17のゴール(目標)が設定されています。



重点推進項目

地域農業の活性化

持続可能な農業を目指して

野生動物から農産物を守る 有害鳥獣対策協議会の設置



農家の存続を脅かす鳥獣害を防ぐため、地域全体で対策に努め、技術や情報の共有を行っています。

大切な農業を残すための方法 行政と連携し事業継承をアドバイス



静岡県事業引き継ぎ支援センターと連携し、後継者や担い手の創出の手法を支援します。

重点推進項目

環境に配慮した持続的な発展

地域の豊かさを
目指して

農業と福祉の連携 課題解決と共生社会へ



エダマメやイチゴの出荷調整作業を障がい者就労支援施設nanairoへ委託。農家の負担軽減と同時に、施設利用者の意欲向上にもつながっています。

青壮年部が盗難防止パトロール 住み続けられる街づくり



盗難被害防止のため、青壮年部を主体に防犯パトロールを実施。「見守りの目」があることで、犯罪が起きにくい地域づくりにも貢献しています。

重点推進項目

魅力ある人材の活躍推進

教育や
地域文化の伝承

しみずみらい応援団 農産物の販売で子どもたちをサポート



農産物販売金額の一部を(一財)あしなが育英会に寄付。2019～2021年度までの寄付金合計は1,000万円を超え、世界中の子どもたちの就学を支援しています。

女性部レシピ集が完成 地元の食を伝えていく



女性部「クッキングフェスタ」に出品されたレシピを「春夏号」「秋冬号」の2冊にまとめました。多くの人の目に触れ、受け継がれていくことを期待しています。

SDGs、未来への展望

政府は毎年、具体的施策を取りまとめた「SDGsアクションプラン」を公表しています。これは、日本政府のSDGs施策における要です。

毎年、その年に実施する政府の具体的な取り組みの重点事項を盛り込み、SDGsの達成に向けての国内の実施体制や国際協力の加速化、国際社会に日本の取り組みを共有・展開していくために、あらゆる関係者に行動を呼びかけるものになっています。

その中に掲げられる日本モデルを支える3本柱を紹介いたします。



1 経済、ビジネスの観点

Society (ソサエティ)5.0の推進

これまで企業はどちらかと言えば、儲けた利益の一部を使って社会に還元しようという発想でしたが、SDGsでは本業を通じて儲けながら世界を変えていこう、という発想の転換があります。

Society 5.0は、狩猟社会(Society 1.0)、農耕社会(Society 2.0)、工業社会(Society 3.0)、情報社会(Society 4.0)に続く新たな社会であり、「我が国が目指すべき未来社会の姿」とされています。

人類がこれまで歩んできた社会に次ぐ第5の新たな社会を、デジタル革新、イノベーションを最大限活用して実現するという意味でSociety 5.0が作られ「超スマート社会の実現」を目指しています。Society 5.0の社会では、現在のSociety 4.0の社会が抱える多くの課題を解決することが期待されています。

JAでもこの大きな潮流に乗り遅れないよう、実現に向けて、次年度IT推進部署を立ち上げて進めていきます。

2 地方創生の観点

強靱かつ環境にやさしい魅力的なまちづくり

東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げる事を目的とした一連の政策「地方創生」。コロナ禍により、実現の重要度は高まったといえるでしょう。

静岡市は「みんなの力で創る『世界に輝く静岡』」をテーマとし、いち早くこの活動に賛同。2018年6月に日本における「SDGsモデル」となる先進都市として「SDGs未来都市」に選ばれました。SDGs未来都市とは、持続可能な都市・地域づくりを目指す自治体を選定し政府としてサポートしていこうという取り組みです。

2018年7月には、世界に向けて情報発信を行う国連の「SDGsハブ都市(Local 2030 Hub、国連)」にも、アジアで初めて選ばれました。

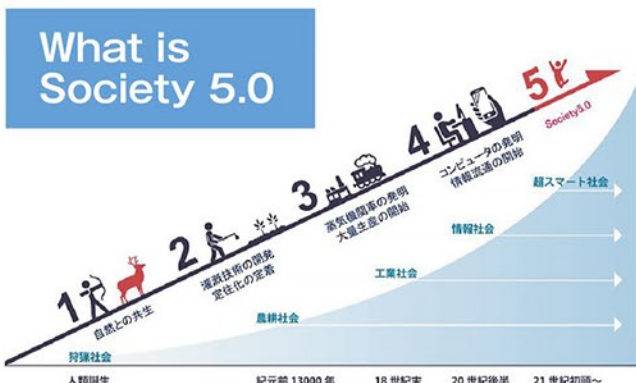
地方が将来にわたって成長力を確保するには、人々が安心して暮らせるような、持続可能なまちづくりと地域活性化が重要です。

3 人にまつわる観点

次世代・女性のエンパワーメントに期待

そもそもSDGsはあまりにも広い範囲を全体的にカバーしているため、3つに分けることは困難なのですが、3は1の経済やビジネス、2の地方創生でカバーしにくい部分、特にフォーカスしたい部分になっています。

キーワードは例えば、「働き方改革」、「女性の活躍推進」、「子供の貧困対策」、「次世代の教育振興」などで、それぞれが膨大な内容をカバーしています。



このコーナーでは、清水区内の昔懐かしい風景や行事、建物などの古い写真を随時募集します。

珍しい古い写真をお持ちの方は、広報課(TEL367-3221)までぜひご一報ください。



清水の歴史を
貴重な資料で振り返る
[archive-36]



JASしみず市慰霊碑(除幕式=平成9年10月4日)
資料: JA広報誌「ピツ!」平成9年11月号

当

J A本店の西側駐車場内に鎮座している慰霊碑は、私たちの現在と将来をいつも静かに見守っています。

建立は平成9年(1997)10月で、当JA合併25周年の記念事業として実施されました。

当JA(旧清水市農協)は、昭和47年(1972)発足。以来、組合員をはじめ役員など関係者が一体となって、時代の変化や社会状況の変遷の中で幾多の困難にも立ち向かい、それぞれの場面で最善の対応をしてきました。

慰霊碑は、JAの設立後25年間に故人となられた組合員およびJA役員に感謝し、御霊を祀るために建立したものです。

除幕式は建立した年の10月4日、慰霊碑の前で執り行いました。故・野田益嗣組合長をはじめ組合員など関係者約130人が参列し、物故者名簿を慰霊碑に納めました。式典で野田組合長は「先人たちの気持ちを忘れず、今後の農業・農協活動につなげていきます」と参列者に訴えていました。

以後、毎年9月に慰霊祭を行い、前年度の物故者名簿を奉納して先人たちの功績に感謝するとともに、JAのこれからの活動につなげていこうと、気持ちを新たにしています。

ニラを育てる

冷涼な気候を好み、休眠状態で越冬するので、耐寒性はきわめて強い。強健で育てやすく、刈り取った後からすぐに新芽が伸び、年に数回の収穫ができる。

多年草だが、株が古くなると収量・品質を損ねるので、適宜株分けし更新を図る。トンネルやハウスを使えば、周年栽培も割合容易にできる。



家庭菜園

できあがった苗

草丈20cm前後。根を切らないようにして掘り上げる。

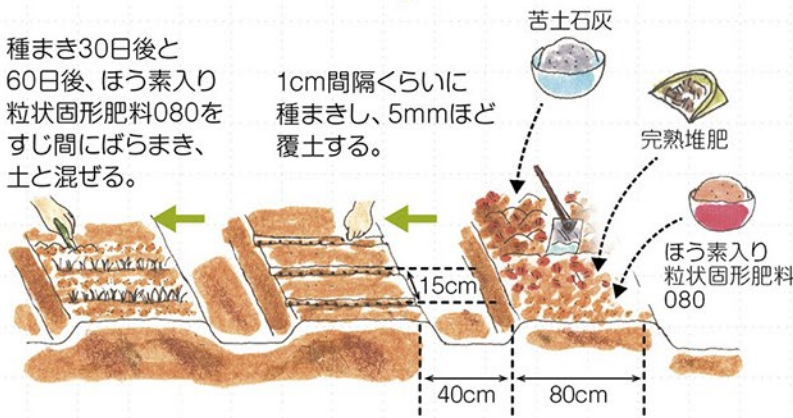


根張りの良いものが良い。

2 苗づくり

種まき30日後と60日後、ほう素入り粒状固形肥料080をすじ間にばらまき、土と混ぜる。

1cm間隔くらいに種まきし、5mmほど覆土する。



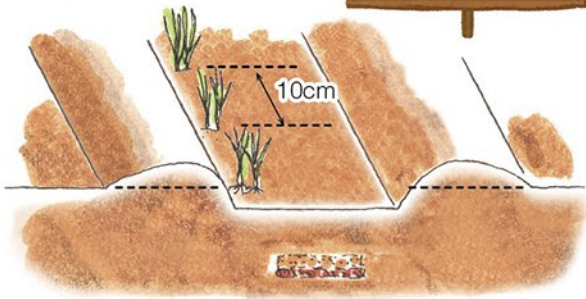
1 畑の準備

全面に完熟堆肥、苦土石灰をばらまいて、よく耕しておく。



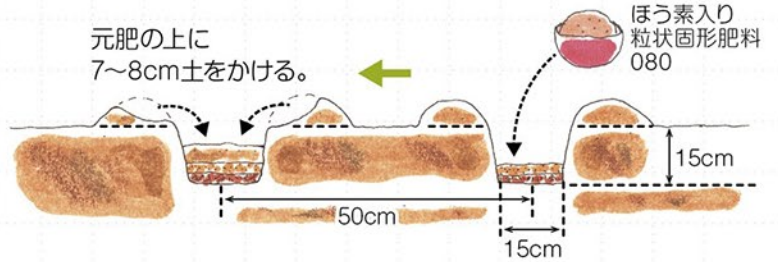
1カ所3~4株ずつ、まとめて植えつける。

4 植えつけ



元肥の上に7~8cm土をかける。

3 植えつけ準備



栽培カレンダー

● 種まき ◆ 植えつけ ■ 収穫 □ トンネル被覆

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培(春まき)			●			◆						
トンネル栽培			●			◆						
露地栽培(秋まき)									●			

病害虫防除

散布量：1ℓ以内/1坪

病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用日数	使用回数
ネキリムシ類	ダイアジノン粒剤5	5kg/10a	定植時	1回以内
アザミウマ類・アブラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	4,000倍	前日	3回以内
軟腐病	コサイド3000	2,000倍	—	—
さび病・うどんこ病	カリグリーン	800~1,000倍	前日	—

グリーンセンターおススメ! アイテム



天然腐植に肥料成分を吸着させた肥料です。

ほう素入り粒状固形肥料 080
20kg 税込 2,051円

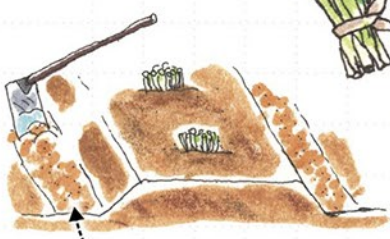
粒状でまきやすく、安定した肥料効果が期待できます。



グリーンセンター センター長 菅原 章人



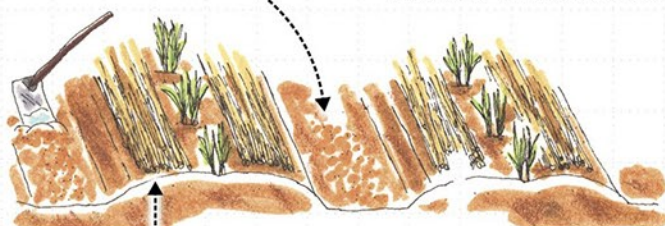
草丈20～25cmに
伸びたころ、地上
4～5cmのところから
刈り取り収穫する。



ほう素入り粒状
固形肥料080を
少々ばらまく。



ほう素入り粒状
固形肥料080

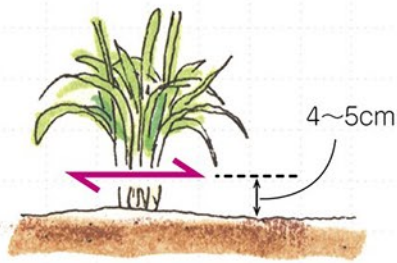


乾きやすい畑では敷わらをして、
夏の乾燥を防ぐ。



1カ月に1回程度追肥する。

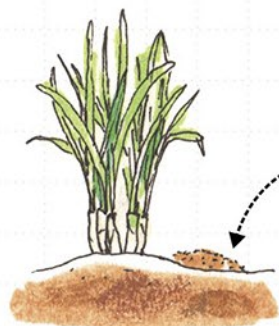
古い葉やとうの茎を刈り取り、
そろいの良い新芽を出させる。
その後15日くらいで
収穫できる。



4～5cm



夏になると、とう立ちして
くるので、早めに摘み取って
株疲れを防ぐ。



ほう素入り粒状
固形肥料080を
少々ばらまく。



3～4年繰り返し収穫し続けることができる。
株が弱ったところ、株分けして植え替えるか、
新しく苗を育てて植えつける。



■施肥例

散布量：1坪あたり

時期	種類		施肥量	施用時期
育苗	元肥	苦土石灰	300g	は種20～30日前
		完熟堆肥	3kg	は種10～15日前
	追肥	ほう素入り粒状 固形肥料080	300g	
			100g	②苗づくりの項を参照
本圃	元肥	苦土石灰	300g	植えつけ20～30日前
		完熟堆肥	3kg	植えつけ10～15日前
	追肥	ほう素入り粒状 固形肥料080	650g	
				50g/回

※ 上記の肥料・農薬は、JAグリーンセンターでお買い求めいただけます。 ※ 農薬は、ラベルに記載された安全使用基準を守って使用しましょう。

ご注意ください 毒物、劇物に指定されている農薬は、購入の際に印鑑が必要です。

気温の上昇に伴って、この時期から茶樹の活動が活発になり、一番茶生産に向けた管理が本格化してきます。品質の良いお茶を生産するためにも、基準に沿った管理を行ってください。

■施肥(表①)

一番茶品質の約3割は春肥や芽出し肥由来とされています。そのため、下表に沿った施肥を確実に行ってください。施肥後は、畝間の有機物や表層の土壌と軽く混和して吸収効率を高めてください。

■病虫害防除(表②)

安全安心な一番茶の生産やコスト削減のためにも、極力防除を避けたい時期ですが、特にカンザワハダニの発生が確認された場合には、次に沿って防除を実施してください。

【カンザワハダニ】

カンザワハダニは気温8℃以上で活動が活発化し、3月中下旬頃から繁殖が始まります。摘採芽の安全性を考慮して早期に防除するため、萌芽期前の3月に発生密度をチェックし、初期防除に努めてください。

カンザワハダニが多発してからの防除では、薬効が著しく低下しますので、一番茶萌芽前に裾葉の葉裏を確認し、発生が見られた園では、ダニのいる葉裏へ確実に薬剤がかかるよう丁寧な散布を行ってください。

【チャトゲコナジラミ】

前年秋季にチャトゲコナジラミが発生した園地では、一番茶新芽の時期に成虫が多発する可能性があります。このような園地では、カンザワハダニやサビダニとの同時防除として、ダニゲッターフロアブル2,000倍(7日-1回)を散布してください。

【もち病】

例年もち病が発生する園や風通しの悪い園では、コサイド3000の1,000倍(14日)を散布し、越冬した菌の密度を減らすよう努めてください。

■再整枝(化粧ならし)

再整枝(化粧ならし)をする際には、次の点に注意してください。

【目的】

再整枝は一番茶摘採時に、古葉や遅れ芽等の混入による品質低下を防止するために、摘採面の整枝を行います。

【時期】

2月下旬から3月上旬(摘採50~60日前)を目安に実施してください。時期が早すぎると、再整枝によって

出てきた耐寒性の低い葉が、寒害を受けてしまう可能性があります。

【位置】

秋整枝位置より深い整枝は、越冬芽を刈り落としてしまい、芽数の減少・減収・品質低下に繋がりますので、摘採面から不揃いに出た葉だけを対象に実施しましょう。

表① 施肥

コース名	施肥名	施用時期	肥料名	施用量
基本コース	春肥	2月下旬 一番茶摘採70日前	JAぼかし妙光配合	5袋/10a
	芽出し肥	4月上旬 一番茶摘採30日前	いっしん	3袋/10a
こだわり茶園コース	春肥Ⅰ	2月上旬 一番茶摘採80日前	JAぼかし妙光配合	4袋/10a
	春肥Ⅱ	3月上旬 一番茶摘採50日前	いっしん	3袋/10a
	芽出し肥	4月上旬 一番茶摘採20日前	チッソアップ*	3袋/10a
省カロングコース	春肥	2月下旬 一番茶摘採70日前	清水一発ロング	7袋/10a

*チッソアップ(15kg袋)

表② 病虫害防除

散布時期	摘要
一番茶萌芽前 3月上旬	<ul style="list-style-type: none"> カンザワハダニ・サビダニおよび前年秋季にチャトゲコナジラミが発生した園では、ダニゲッターフロアブル2,000倍(7日-1回)を散布する。 一番茶で、もち病の発生が予想される園では、コサイド3000・1,000倍(14日)を混用散布する。



■病虫害防除

表①を参考に防除してください。り病枝が多い状況で、防除を怠るとかいよう病が蔓延します。本年の感染拡大を防止するため、発芽前のボルドー散布を必ず実施

してください。ボルドー剤は葉害が発生する恐れがあるため、他剤との混用や近接散布、発芽後の散布は避けてください。

■管理作業 春肥の施用

春肥は新芽(葉)と花の充実や幼果の発育のために重要です。気温、地温が上昇するにつれて、根からの養分吸収が活発になります。3月より早い時期に施肥すると、根から十分に肥料養分が吸収されずに流されてしまいます。反対に3月より遅い時期に施肥すると、新芽(葉)と花

の充実や幼果の発育に養分が行き渡らず、樹勢の低下を招いてしまいます。表②の基準を参考に施用しましょう。

また、春先は雑草の生育も旺盛になり、繁茂しやすくなります。施肥した養分が雑草に吸収されてはもったいないため、除草後に施用しましょう。

表① 病虫害防除(柑橘)

品目	散布時期	対象病虫害	薬剤名	希釈倍率	使用基準※1	茶登録
青島温州	発芽前	かいよう病	アピオンE ICボルドー66D	1,000倍 60倍	—	○
中晩柑						

表② 施肥(柑橘)

品目	施用時期	肥料名	施用量
極早生	3月上旬	みーちゃん配合A	5袋/10a
早生温州			
青島温州			6袋/10a
太田ボンカン			
はるみ			
清見・不知火			
甘夏			
スルガエレガント			

※1 使用基準は「収穫前日数×散布回数」をあらわす。

【その他注意点】
ICボルドー66Dとマシン油乳剤散布とは前後14日間あける。



落 葉 果 樹

■病虫害防除

発芽前に越冬病虫害の密度を減らすことで本年産の病虫害の発生を抑えます。

表③を参考に防除してください。特に枝の股の部分や樹皮の溝などは入念に散布します。石灰硫黄合剤を使用する際は周囲に十分ご注意ください

■管理作業 春肥の施用

イチジクとクワイは春肥の施用時期です。春肥は新芽の発育に重要です。表④の基準を参考に施用しましょう。

■土 壌 管 理

落葉果樹は地上部より地下部(根)が先に活動を始めるため、日光をあて、地温が上がりにやすくなるよう除草を行いましょう。土壌水分が不足すると、新根の発生や養分の吸収が悪くなり、新梢や花蕾の充実に支障をきたし

ます。圃場が乾燥している場合には、十分なかん水をお願いします。

土壌改良剤や堆肥を投入した際は中耕を実施し、土づくりに努めましょう。

表③ 病虫害防除(落葉果樹)

静岡県落葉果樹振興協会発行栽培暦より抜粋

品目	散布時期	対象病虫害	薬剤名	希釈倍率	使用基準※1
イチジク※2	3月	越冬病虫害	石灰硫黄合剤	7~10倍	発芽前—
柿	3月中旬	越冬病虫害	石灰硫黄合剤	7~10倍	発芽前—
梨(幸水・豊水)	3月下旬	黒星病	オーソサイド水和剤80	800倍	3日—9回
クワイフルーツ(ハイワード)	3月(発芽後)	かいよう病	コサイド3000 クレフノン加用	2,000倍 200倍	収穫後~ 果実肥大期—

表④ 施肥(落葉果樹)

品目	施用時期	肥料名	施用量
イチジク	3月上旬	果樹配合5号	3袋/10a
クワイフルーツ	3月中旬	粒状固形080	5袋/10a

※1 使用基準は「収穫前日数×散布回数」をあらわす。

※2 ネコブセンチュウ多発園では、バストリア水和剤(生育期—)を10aあたり1~5kgを300ℓに希釈して土壌表面に散布する。

■ 株分け・植え替えのポイント

- ① 天気の良い日に行く。
- ② 新芽が動き始めている株で、1~2バルブを1株とする。

- ③ 根腐れがひどく、正常な根(先端が緑色)がない株やウイルス病の病徴が見られる株は、健全な株とは隔離し速やかに処分する。

■ 鉢について

- ① 株分けの場合は、根が収まる程度の、3~5号鉢がおすすめです。
- ② 植え替えの場合は、少し大きめの鉢を使う。
- ③ 鉢を再利用する場合は、張り付いた根などをきれい

に取り除き、ケミクロンGの1,000倍液にて浸漬消毒する。また、特にウイルス病の感染を防ぎたい場合は、予めビストロン10(第三リン酸ナトリウム10%液)の2倍希釈液に10分以上浸漬消毒しておく。

※施肥効果を高めるために、施肥後は軽く耕起し、土と混ぜ合わせてください。ただし、この時期は土壌の表層部分に根が張っていますので、深く耕起することは避けてください。

■ はさみについて

- ① ウイルス病の感染ルートとして、はさみからの感染に最も注意を払わなくてはなりません。

- ② 数本のはさみを用意し番号を記しておきます。そのはさみをビストロン10の2倍希釈液に浸し、番号順に使用します。

イ チ ゴ

2~3月は収穫作業が忙しい時期です。栽培管理、ハウス管理が遅れないようにします。

■ 病虫害防除

温度の上昇に伴い、病虫害の発生に注意しましょう。特にアザミウマやうどんこ病は、気温が高くなりサイドの開放を始めると、飛び込み等で急激に増加します。定期的な薬剤散布を心掛け、予防に努めましょう。

ハダニ類は低温期からよく観察し、例年発生している箇所やハウスの谷、サイド等に印を付けてスポット散布し、発生密度を低く抑えましょう。

ハダニ対策として天敵の数が少なくなっている場合、2月上旬までに天敵を追加放飼し、ハダニ類が増殖す

る前に天敵の密度を増やしておきます。すでにハダニが見られる圃場については、天敵追加放飼前に天敵への影響が少ない薬剤(表①を参考)を散布し、密度を低くしてから放飼します。

なお、気門封鎖系ダニ剤は天敵にも影響がありますので、ダニ多発箇所だけの利用にとどめましょう。また、高温下で散布する場合は薬害が出やすいので、十分に注意してください。

■ 収穫出荷

収穫遅れによる過熟、軟果の発生が多くなります。収穫後の予冷を徹底し、出荷調整は着色基準を厳守しましょう。果実の硬度を高めるため、カルハードを500

倍で10日おきに葉面散布します。養液による施用(PSカルを硝酸石灰側のタンク300ℓに1ℓ目安に混入)も効果的です。

表① 病虫害防除(天敵導入圃場で使用可能な薬剤)
アザミウマ防除

散布量：100~300ℓ/10a

薬剤名	希釈倍率	ミツバチ影響日数	マルハナバチ影響日数	使用回数	備考
マッチ乳剤	1,000~2,000倍	1日		4回以内	
ベネビアOD	2,000倍	1日		3回以内	
ファインセーブフロアブル	1,000~2,000倍	1日		3回以内	※天敵コレマンアブラバチ導入圃場不可

※ベネビアODは展着剤を添加しないでください。薬害の恐れがあります。

ハダニ防除

散布量：100~300ℓ/10a

薬剤名	希釈倍率	ミツバチ影響日数	マルハナバチ影響日数	使用回数	備考
マイトコーネフロアブル	1,000倍	1日		2回以内	卵以外
ニッソラン水和剤	2,000~3,000倍	1日		2回以内	卵
フーモン	1,000倍	薬剤乾燥後は影響なし		-	成虫のみ

※多発の場合は、コロマイト水和剤(2,000倍)をスポット散布。

※フーモンは気門封鎖剤ですので、高温時の薬害および天敵利用時は天敵への影響にご注意ください。



こだわりレ・シ・ピ

「カンタン」「ナットク」料理のヒ・ケ・ツ教えます♪



スマホで動画もチェック!

ハウレン草のガレット

～チーズとそばが香る生地に、たっぷり具材で栄養満点!～

材 料

2 人 分

【 具 材 】

- ハウレン草 1束
- 塩 小さじ1
- 玉ネギ 1/2個
- シメジ 1/2株 (50g)
- 顆粒コンソメ 1つまみ
- ハム 40g
- バター 5g
- 粗びき黒コショウ 少々

【 生 地 】

- そば (加熱済み) 1人分 (150g)
- 粉チーズ 大さじ2
- 白いりゴマ 大さじ2
- ピザ用チーズ 150g
- 卵 2個
- お好みでベビーリーフ、ミニトマトなど

POINT

ハウレン草には結石の原因となる「シュウ酸」が含まれていますが、カルシウムと一緒に摂ると消化管内で結合し、吸収を減らすことができます。今回はたっぷりのチーズと合わせたので、下ゆでなしでも安心です。

作 り 方

(1) ハウレン草の準備をする

- ① ハウレン草はきれいに洗い、葉と茎に分ける。葉は3cm長さのザク切り、茎は1cm長さに切って別々の容器に入れる。
- ② それぞれに塩小さじ1/2を振り、やさしく混ぜる。全体に塩がなじんだら、葉は握るようにして揉み、容積を半分程度にする。茎はアクと水分が出るまでしっかり揉む。そのまま10分おく。
- ③ 時間がきたらサッと水をかける程度に洗い、葉はキッチンペーパーで包んでしっかり水気を切る。茎もしっかり水分を絞る。

(2) 具材を作る

- ① 玉ネギは繊維に沿って薄くスライスする。シメジは石づきをとり、ほぐす。ハムは8mm幅に切る。
- ② 耐熱ボウルに玉ネギを入れてほぐし、ゆったりとラップをかけ、電子レンジ (600W) で1分加熱する。
- ③ 一度取り出してシメジを加え、同じように30秒加熱する。顆粒コンソメを加えてひと混ぜする。
- ④ さらにハウレン草の茎を加え、30秒加熱する。ひと混ぜしたら、ハウレン草の葉を加え、30秒加熱する。
- ⑤ ハムとバターを加え、黒コショウを振り、混ぜる。

(3) ガレット生地を作る

- ① 1枚ずつ生地を作る。そばは2cm程度の長さに切る。
- ② ポリ袋にそば、粉チーズ、白ゴマ、それぞれ半量を入れ、シャカシャカ振って混ぜる。ピザ用チーズも半量加えて混ぜる。

(4) 焼いて仕上げる

- ① 26cm程度のフライパンにフライパン用のホイルを敷く。周囲を2cm程度空けて生地を広げ、ふたをして強めの中火で2分焼く。
- ② ふたをとって火を止める。生地の周囲4cm程度を空けて、中央に具材の半量をのせる。真ん中をくぼませて、卵1個を割り入れる。くぼみにハウレン草の葉を1枚広げておくと、卵が底に焦げつきにくい。ふたをして、中火で2分焼く。
- ③ ヤケドに注意しながら、ホイルを少し持ちあげて生地を内側に折り、四角い形に整え、皿に盛る。お好みでベビーリーフやミニトマトを添える。

お役立ち コラム

食材の鮮度を保つ 「50度洗い」

50度のお湯で野菜を洗うと、色鮮やかによみがえり、保存性も高まります。



詳しくは動画で▶



遠山 由美

野菜ソムリエ上級プロ NR、食育プロデューサー 他<略歴>

日本初の「シニア野菜ソムリエ」第1号取得者。野菜や果物の魅力を料理、栄養学、食育など多くの手法で伝え、生産者と消費者の掛け橋として、テレビやラジオなど多方面で活躍中。

旬のまめ知識



ハウレン草

「菠薐 (中国語でペルシャの意)」で生まれ、江戸時代前期に東周りで「東洋種」が、後期に西周りで「西洋種」が渡来した「ハウレン草」。前者はギザギザ形の薄い葉で、繊細な味わいを生かした「お浸し」向き、後者は丸型の厚い葉で、しっかりした歯ごたえを生かした「洋風料理」向きとされました。今の主流は、両者イイトコどりの「ハイブリッド型」。しみずのハウレン草は、期間&地場限定! 栄養価が高く簡便調理に向く「今の時代にあったハウレン草」です。

青島温州出荷スタート 濃厚な甘味とマイルドな酸味



ミカンの主力品種「青島温州」の集荷と出荷が12月15日、柑橘共選場でスタートしました。青島温州は、当JAが出荷する柑橘類の約7割を占めています。1次選果では従業員が傷や浮き皮などがなく外観を厳しく確認。光センサー選果機で糖度・酸度などを測定し、等階級別に段ボール箱に詰めました。

本年産は濃厚な甘味とマイルドな酸味に仕上がっており、3月上旬まで京浜、関東、新潟などの青果市場へ約4500tの出荷を見込んでいます。



▲ 1次選果外観を厳しく確認する従業員

年末特別警戒出陣式 清水警察署などが巡回

清水警察署は12月15日、年末の防犯強化のため、年末特別警戒・交通安全県民運動の出陣式を行いました。2021年度職場防犯協会の会長を務める当JAの柴田篤郎組合長が参加。出陣式で警察官やボランティアなど23人がパトカー5台、青色パトカー6台で出動。清水区民の安全を守るため、年末まで金融機関や夜のコンビニなどを巡回しました。

清水警察署財津康署長は、「清水区民が穏やかに暮らせるように、特別警戒活動をお願いします」と参加者たちに呼び掛けていました。



▲ 年末特別警戒の巡回に出発するパトカー

有度支店と有度営農拠点で生活フェア 購入者にダイコンをプレゼント

有度支店と有度営農拠点は12月16日、年金受給に合わせて、生活フェアを開きました。

日用品や生活用品などをお買い得価格で販売したほか、スピードくじなども行い、会場を盛り上げました。また、購入者には地域運営委員会が育てたダイコンを1本ずつプレゼント。

金融窓口でも、年金を受給している来店者に、そばをプレゼントしました。工夫を凝らしたイベントに会場の人たちは楽しいひと時を過ごしていました。



▲ 購入者にダイコンをプレゼントした有度支店の生活フェア

清水庵原中2年生 原基盤整備地でミカン収穫

清水庵原中学校2年生は11月24、25日、原基盤整備地にある西ヶ谷量太郎さんの園地でミカンの収穫を体験しました。

地元の産業を学ぶ総合学習で、12人の生徒が参加。西ヶ谷さんの指導を受けながら、たわわに実ったミカン丁寧に切り取りました。

生徒リーダーの杉山正宗さんは「生産者の苦勞がよく分かりました」と笑顔で話していました。収穫後は、新丹谷基盤整備地へ移動し、モニュメント「夢をかなえる鐘」を鳴らして高台からの眺望も楽しみました。



▲ ミカンの収穫に汗を流す生徒たち

清水原こども園が感謝 収穫体験サポート「ありがとう」

清水原こども園の年長園児29人は11月26日、ミカンやブラムの収穫体験をサポートしたJAに感謝の気持ちを伝えようと、庵原支店を訪れました。

園児たちは、職員に「いつもありがとう」と書いた2022年のカレンダー入りの感謝状とミカンの絵を手渡し、JA中部営農センターの溝口大悟担当は「子どもたちが地元の農作物の味や特徴を覚えてくれたことがうれしい」と受け取りました。

原こども園では毎年収穫体験を行っていて、手作りの感謝状を同支店に届けています。



▲ 感謝状を届けた園児と支店職員

女性部飯田支部 逸品!手作りコンニャク農業祭で販売

JA女性部飯田支部は12月13日、同部員が育てたコンニャク芋12kgを使ってコンニャクを作りました。

コンニャク芋は下ゆでした後、水を加えながらミキサーでペースト状にし、よく練ります。そこへ凝固剤の水酸化カルシウムを加えて手早く混ぜ、容器に入れて固まったら、約2時間ゆでて完成です。

出来上がったコンニャクは、各家庭で味わったほか、12月15日に開いた同支店の農業祭でも販売し、大好評でした。



▲ ペースト状にしたコンニャク芋をパッドへ流し込む部員

県なし・キウイ品評会表彰式 なし 瀧さん金賞、キウイ 杉山さん銀賞

県落葉果樹振興協会は12月23日、県農業会館で静岡県なし・キウイフルーツ果実品評会表彰式を開きました。

なし果実品評会は8月6日にJA富士市で開かれ、有度地域の瀧さんが金賞を受賞。キウイフルーツ品評会は11月25日に県農業会館で開かれ、庵原地域の杉山進さんが銀賞1席に輝きました。

瀧さんは「私の梨栽培について」と題し、事例発表を行い「大玉果生産を心掛けた結果、受賞できた。これからも消費者に喜んでもらえる梨を栽培したい」と話していました。



▲ 表彰状を受け取る瀧さん(右)

清水飯田東小5年生 稲わらでリース作り体験

清水飯田東小学校5年生74人は12月10日、稲わらを使ったリース作りに挑戦しました。地元の米生産者、赤堀充・岳子さん夫妻が講師を務め、女性部飯田支部などが協力しました。



児童らは2人1組になり、慣れない作業に苦労しながらわらを円状に整え、クリスマスや正月用に飾り付けをして、個性あふれるリース作品を完成させました。

参加した廣田彩夏さんは「三つ編みにする時に力を入れるのが大変だったが、うまく作ることができた。楽しかった」と笑顔を見せていました。

◀ 友人と2人組になり、稲わらリース作りに挑戦する児童

職員がミカン収穫ボランティア

JAの原点である組合員との対話運動として、JAしみずは11月から12月までJA職員による援農ボランティアを行いました。週末の計5日間に職員約240人を38戸の農家へ派遣し、12月中旬から出荷を迎える特産の青島温州の収穫を手伝いました。

参加した職員からは「農業を身近に感じ、農家の大変さが分かった。今後の業務にもつなげていきたい」などと感想が寄せられ、協同組合理念に対する職員の理解の促進も期待しています。

ミカンの収穫支援は昨年度に続いて2年目。継続していくことで、本格的な農業支援を目指していきます。



■収穫ボランティアを行うJA職員

家の光 川柳コーナーに入賞

女性部袖師支部が「家の光」に応募した川柳が入選に選ばれ、1月号に掲載されました。

部員同士や地域住民、職員との交流を図ろうと、袖師支店が8月に開いた川柳大会に集まった作品を応募したところ、金融窓口の菅井真花さんの作品が入賞。菅井さんは「お酒は飲めないのに、実際に飲むのはジュース」と笑い、矢入喜恵子支部長は「入賞できてよかった」と話し、喜びを分かち合いました。

入選 帰宅後の 冷えた一杯 生き返る

袖師支店 菅井真花



■作品が掲載された「家の光」1月号を手に、喜びを分かち合う菅井さん(左)と矢入支部長

JA静岡厚生連 清水厚生病院

整形外科

足首の痛みは専門医にご相談ください



◆ 足首の痛み = ねんざの後遺症 ◆

「ねんざの後遺症」という言葉を耳にしたことがあるでしょうか。

足首の痛みは、治っていたと思っていたねんざが、完全に治っておらず影響が残っていることが原因であることが多いのです。

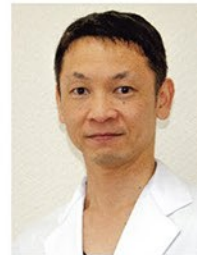
ねんざは靭帯の損傷のことであり、靭帯はゴムひものように伸びるものではありません。足首の靭帯は膝の靭帯の10分の1の強さしかないといわれており、子供でもひねると簡単に切れてしまいます。

切れてしまったり弱くなったりした靭帯は、自然に治ることはありません。ねんざの後遺症を放っておくと軟骨がすり減ってしまったり、スポーツ選手であれば選手生命の危機に陥ってしまう可能性もあるのです。

当院では、足首・膝の疾患に精通し、各団体のスポーツドクターを務める医師が2021年4月より赴任しております。

スポーツをしている学生の方はもちろん、足首・膝の痛みにお悩みの方は、ぜひ当院にお気軽にご相談ください。

医師の紹介



東山 礼治 ひがしやま れいじ

2001年 筑波大学卒

2009年 千葉大学大学院博士課程修了

2011年～北里大学整形外科助教

関節鏡を使用した様々な術式を考案

東山医師が考案した「前十字靭帯(ACL)再建術」が教科書に掲載されました。
〈パーフェクト前十字靭帯再建術(ACL)〉

術後早期の筋力回復が早い傾向にあるため、早期復帰を目指すアスリートにも有用です。

JA静岡厚生連清水厚生病院
TEL:054-366-3333(代表)

東山医師の診療

診察日/第1・3・5木曜日
時間/8:30~11:00

県いちご果実品評会 齋藤さんが大臣賞

第32回県いちご果実品評会が12月16日に駿河区の県農業会館で開かれ、最高位の農林水産大臣賞に清水区駒越中の齋藤祐貴さんの出品した「紅ほっぺ」が輝きました。

品評会には県内14JAから116点が出品。県農林技術研究所の塚本忠士審査委員長を審査員長とする15人の審査員が形状や色沢などの外観、食味などを審査し、金賞5点、銀賞10点、銅賞26点を決めました。

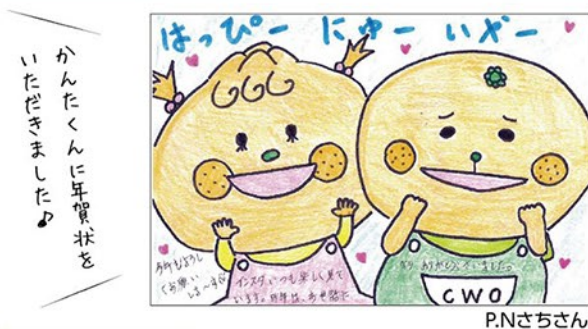
齋藤さんは、昨年も金賞5席を受賞。12月22日には、JA本店の柴田篤郎組合長を訪れ、受賞を報告。「今まで管理してきたことが評価された。石垣イチゴ部会の価値が上がればうれしい」と話していました。



■12月に開かれた品評会

- 左：農林水産大臣賞を受賞した齋藤さんの「紅ほっぺ」
- 右：柴田組合長(左)から花束を受け取る齋藤さん

読者のお便り



お便りの応募先

本誌の感想はもちろん、短歌、俳句、川柳、絵手紙、イラスト、写真など、読者の皆さんからの投稿をお待ちしています。郵便番号、住所、氏名(必要な方はペンネーム)、年齢、電話番号をお書き添えの上、はがき、メールのいずれかでご応募ください。

〒424-0192 静岡市清水区庵原町1
JAしみず 広報課
ja-shimizu@shimizu.ja-shizuoka.or.jp





理事会だより


定例理事会 12月24日(金)


- 議事 令和3年度 上半期監事監査指摘事項に対する回答について


編・集・後・記

 向田邦子さんの本が書店の前面に出ているので買ってみたい。何気ない日常をユーモアたっぷり、かつ簡潔に表現しており見事。見習うべき点が多い。「こんな風を書けたら、広報誌ももっと表現豊かに書けるのに」とふと思った。(伊藤)

 「はるみ」の季節が到来。初めて食べた時のおいしさは今でも忘れられない。プチプチの食感と何とも言えない香りが口の中に広がり、「こんなにおいしいミカンがあったのか」と驚いた。「はるみ」は、「JAタウン はるみ」で検索。(蒲生)

 運動不足を解消すべく、NHKのテレビ体操に挑戦。出演者の機敏な動きを真似してやってみると、あつという間に動悸、息切れ…寝起きの体に結構キツイ!でも、体がほぐれて少すっきり。無理なくゆるく、続けてみよう。(杉山さ)

 節分の2月は一年の中で最も寒い時期。体脂肪率の低い私にとって寒さは骨身に響く。本音は晩酌しながら冬眠したい気分だが、そんなだらけた暮らしを許さないのが現実。ウォーキングや取材活動を積極的に取り組みながら体を温めたい。(杉山滋)

 十数年ぶりにスノーボードをしました。わざわざ長野まで遠出したにもかかわらず、まったく滑れなくなって、半日でリタイアして温泉へ。雪が降る中、露天風呂に浸かってのんびりした時間を過ごしました。(見宮)

かかしコンテストで両河内「茶娘」が最優秀賞

JA女性部は12月9日、昨年11月から12月3日まで実施した「かかしコンテスト」の審査結果を発表し、両河内支部の「茶娘」が最優秀賞に輝きました。期間中、JA本店ロビーに全11支部が制作したかかしを展示。ホームページからの投票も受け付け、投票数の合計と制作内容から同部役員が審査し、各賞を決定しました。

コンテストの様子は「家の光」5月号にも、掲載される予定です。その他の入賞は以下の通り。

- ◆優秀賞/蒲原支部「ハワイふたたび」◆昔もかわいかったで賞/小島支部「なつかしの若かりし頃」◆みんなでおどりま賞/袖師支部「私をハワイに連れてって～Take me to HAWAII～」◆クワ使い金メダルで賞/由比支部「オリンピックバンザイ!日本バンザイ!」



■清水区役所1階に展示された受賞作品。(左から)小島支部、両河内支部、蒲原支部

今月も「しみずの風」をお読みいただき、ありがとうございました。

